# 第５節　音　　楽

## 第１　目　標

表現及び鑑賞の幅広い活動を通して，音楽的な見方・考え方を働かせ，生活や社会の中の音や音楽，音楽文化と豊かに関わる資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

(1) 曲想と音楽の構造や背景などとの関わり及び音楽の多様性について理解するとともに，創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な技能を身に付けるようにする。

(2) 音楽表現を創意工夫することや，音楽のよさや美しさを味わって聴くことができるようにする。

(3) 音楽活動の楽しさを体験することを通して，音楽を愛好する心情を育むとともに，音楽に対する感性を豊かにし，音楽に親しんでいく態度を養い，豊かな情操を培う。

## 第２　各学年の目標及び内容

〔第１学年〕

１　目　標

(1) 曲想と音楽の構造などとの関わり及び音楽の多様性について理解するとともに，創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な歌唱，器楽，創作の技能を身に付けるようにする。

(2) 音楽表現を創意工夫することや，音楽を自分なりに評価しながらよさや美しさを味わって聴くことができるようにする。

(3) 主体的・協働的に表現及び鑑賞の学習に取り組み，音楽活動の楽しさを体験することを通して，音楽文化に親しむとともに，音楽によって生活を明るく豊かなものにしていく態度を養う。

２　内　容

Ａ　表　現

(1) 歌唱の活動を通して，次の事項を身に付けることができるよう指導する。

ア　歌唱表現に関わる知識や技能を得たり生かしたりしながら，歌唱表現を創意工夫すること。

イ　次の(ｱ)及び(ｲ)について理解すること。

(ｱ) 曲想と音楽の構造や歌詞の内容との関わり

(ｲ) 声の音色や響き及び言葉の特性と曲種に応じた発声との関わり

ウ　次の(ｱ)及び(ｲ)の技能を身に付けること。

(ｱ) 創意工夫を生かした表現で歌うために必要な発声，言葉の発音，身体の使い方などの技能

(ｲ) 創意工夫を生かし，全体の響きや各声部の声などを聴きながら他者と合わせて歌う技能

(2) 器楽の活動を通して，次の事項を身に付けることができるよう指導する。

ア　器楽表現に関わる知識や技能を得たり生かしたりしながら，器楽表現を創意工夫すること。

イ　次の(ｱ)及び(ｲ)について理解すること。

(ｱ) 曲想と音楽の構造との関わり

(ｲ) 楽器の音色や響きと奏法との関わり

ウ　次の(ｱ)及び(ｲ)の技能を身に付けること。

(ｱ) 創意工夫を生かした表現で演奏するために必要な奏法，身体の使い方などの技能

(ｲ) 創意工夫を生かし，全体の響きや各声部の音などを聴きながら他者と合わせて演奏する技能

(3) 創作の活動を通して，次の事項を身に付けることができるよう指導する。

ア　創作表現に関わる知識や技能を得たり生かしたりしながら，創作表現を創意工夫すること。

イ　次の(ｱ)及び(ｲ)について，表したいイメージと関わらせて理解すること。

(ｱ) 音のつながり方の特徴